

4年間の学修を見守るための基礎知識

情報学部版



2023年4月25日
湘南工科大学後援会

ご挨拶

後援会会長 土倉 一夫

陽春の候、ますますご清栄のことお慶び申し上げます。後援会会員の皆様、ご子女の湘南工科大学へのご入学おめでとうございます。

新型コロナ禍により生活環境が日々変わる中、ご子女は期待と不安を抱きながら新たな学生生活を迎える事と存じます。本冊子は1年次の学修から卒業までの4年間をどのように過ごすのか、履修や単位取得、出欠や学生支援など、本学の特色のあるカリキュラムを保護者の皆様にもわかりやすくまとめたものになっております。是非ご一読いただき4年間の学修の手引きとしてご活用ください。また、会員の皆様とご子女とのコミュニケーションツールとしてお役にたてれば幸いでございます。



はじめに

学長 木枝 暢夫

ご子女の湘南工科大学へのご入学、おめでとうございます。これから卒業までの4年間でどのような経験を積み、どれだけ成長して社会に出て行ってくれるか、楽しみな一方でご心配されているところもあるのではないかでしょうか。とはいえ、大学生ともなれば行動は本人の主体性に任せることが大切で、それが卒業後に社会で独り立ちするための貴重な経験となります。普段は暖かく見守りつつ、いざというときには程よくサポートすることを意識していただければと思います。

そのために保護者の皆様に知っておいていただきたい本学の教育課程の構成と修学を支援する主な仕組みについて、この冊子にまとめてあります。一通り目を通した上で、お手元に置いて適宜ご活用くださいますようお願い申し上げます。



プロフィール

1981年東京工業大学を卒業、1984年同大学院博士後期課程中退後、工学助手。

1993年湘南工科大学に移り、人間環境学科教授として授業や学生指導を行う一方、2022年度から学長を務めています。

1年次の学修

大学での学びの基盤づくりが、最大の目標です。まずは授業にしっかり取り組んで主体的に学ぶ姿勢と習慣を身に付けつつ、必要とされる基礎的な知識と技術を修得し、その結果として履修した科目的単位を着実に修得することが大切です。

■ 1年次共通必修科目

所属専攻によらず、すべての学生が履修し指定されたクラスで受講します。

科目区分	科目分野	前学期	後学期
共通基盤	基礎	共通基盤WS1A	共通基盤WS1B
社会人基礎	キャリア 外 国 語	修 学 基 础 英 語 総 合 基 础	英 語 総 合 発 展

・共通基盤 WS (ワークショップ) 1

35名程度の学科混成クラスで月曜日午前中の1・2コマにおこなわれる、グループワークを主体とした授業です。学生は前学期と後学期とで、異なるテーマのクラスに所属します。

・修学基礎

コミュニケーションサークル (CC:1年次少人数担任制) 活動とも連携して、大学生活へのスムーズな導入を支援する様々なプログラムが用意されています。

■ 時間割のイメージ

参考として、情報工学専攻 2023 年度入学者前学期授業時間割の例を挙げました。

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
月	共通基盤WS1A		心理をよむ	物語をつくる	
火	データサイエンス 入門1(メディア) ^{*1}	プログラミング 基礎(メディア) ^{*1}	プログラミングのための 基礎数学(メディア) ^{*1}	確率統計リテラシー1 (メディア) ^{*1}	コンピュータシステム 入門(メディア) ^{*1}
水	スポーツを分析する	修 学 基 础			
木	歴史をみつめる	コンピュータリテラシ 基礎(メディア) ^{*1}	英 語 総 合 基 础	文化をはぐくむ	
金			情報学実習A		

この表で、赤字で表示された科目は共通必修、黒字で示された科目は学科専門必修、緑字で示された科目は専攻必修で、全員が必ず履修します。一方、青字で示されているのは選択科目で、CAP^{*2}の範囲内（この場合は1科目）で各学生が自由に選んで履修できます。

*1(メディア)はメディア授業のことです。

*2 CAPについてはp.6、教職課程についてはp.4をご覧ください。

・メディア授業

インターネットにさえつなげられれば、いつでもどこでも授業を受けられる「メディア授業」を1年生では学科必修科目を中心に受講します。わからないところは、何度も繰り返して確認できます。質問などは、電子メールでももちろん可能ですが、湘南工科大学独自の対応として、週に1回、すべてのメディア授業で担当の教員に面対で質問できる機会を用意していますので、安心して受講に臨んでください。

・BYOD

情報学部では、すべての学生が持参するノートPCの利用を前提としたBYOD (Bring Your Own Device) 方式となります。また、大学構内の様々な場所でWi-Fi環境が整っており、メディア授業の受講をはじめ、課題作成や提出、資料の参照やダウンロードなどを大学構内で可能です。

1年次から利用する修学支援 ICT システム (いずれも共通のアカウントとパスワードで利用できます)

Google Workspace

Googleが提供する包括的なサービスで、電子メール (Gmail)、オンライン会議 (Meet)、クラウドストレージ (ドライブ) などが含まれます。

CampusSquare

(キャンパススクエア)

Web上で授業の履修登録、出欠状況の確認、単位修得状況と成績の確認をおこなうためのシステムです。

Moodle (ムードル)

学修管理システム (LMS) で、これを使って教員は授業資料や予習復習課題の提示および受講者への各種連絡などを、学生は課題提出や授業に関する質問などをおこないます。

2年次・3年次の学修

1年次で身に付けた基盤の上に、専門分野の知識と技能を積み上げつつ、それらをどのように活かして社会に貢献できるかを考える幅広い学びを加えることで、卒業後の進路への意識を高めていきます。

■ 2年次共通必修科目

社会に目を向けながら、社会人基礎力のアップを目指します。

科目区分	科目分野	前学期	後学期
共通基盤	発展	共通基盤WS2A	共通基盤WS2B
社会人基礎	人間と社会※	くらしと法・政治行動・日本国憲法	
	健康とスポーツ	スポーツで健康を科学する	スポーツで健康をデザインする

※これら3つの科目から1つ選び、前学期または後学期に履修します。

・共通基盤 WS（ワークショップ）2

1年次の共通基盤WS1より専門的なテーマや、社会と連携する活動に取り組むことで、身に付けた知識や技能を生かす力と意欲を伸ばすことが目標です。各学期に20~25人の20クラス程度を設定し、企業とのコラボレーションや地域連携活動など、PBL（課題解決型学修）の要素を取り入れた授業を実施します。同窓会を通じて、卒業生が勤めている企業にも協力を要請しています。

■ 3年次共通必修科目

社会人として求められる基礎的知識と技能を身に付けます。

科目区分	科目分野	前学期	後学期
社会人基礎	キャリア	キャリア形成	進路研究
	人間と社会※	国際政治経済・外交と安全保障・グローバルデータ分析	
		市場と経済・企業経営・会計と財務	

※それぞれ3つの科目から1つ選び、前学期と後学期に1科目ずつ履修します。

・キャリア形成・進路研究

これら2つの授業を通じて、卒業後の進路を見つける（多くの場合は就職活動）ための準備をします。「キャリア形成」では、社会や企業のニーズと自分自身の強みや弱みを知って、社会での自己実現をイメージすることを目指します。一方、「進路研究」では、主に就職活動で役立つ実践的なスキルを高める内容になります。

・学科専門科目履修のポイント

学年が進むにつれて、学科専門の選択科目が増えてきます。自身の興味関心だけでなく、4年次で卒業研究をおこないたい研究室の専門分野や将来就きたい職業を意識し、それらと関連の深い内容を学べる授業を優先して、系統的に学修を深めていくことが大切です。学科によっては資格取得につながる科目も設定されていますので、活用を考えてみるのもよいでしょう。

・課題解決型実習

情報学科で扱うICT分野すべてを“分野ローテーション”による課題解決型実習で体験する「情報学実習」を1年次に受講して、各分野の先輩がどのような研究課題に取り組んでいるか、その面白さや社会的意義などを知り、学びに触れながら自分の「やりたいこと」を見つけます。2、3年次の「情報学課題解決実習」では、専攻・学年を超えて、「やりたいこと」が同じ学生同士が集まり、じっくりと課題解決に取り組みます。専攻・学年の枠をなくすることで、多様な技術・知識を吸収でき自分でそれらが混じり合い、次の学びに発展し、続く4年次の「卒業研究」や卒業後の進路につなげることができる学びが本学科の「課題解決型実習」の特徴です。

・社会に出て学ぶ

「社会貢献活動」は、本学と連携している公的組織やNPOの社会活動に参加して、社会人基礎力を伸ばすとともに大学での学びと社会のつながりを実感することを目的とする科目です。実施時期が夏休みなど授業時間外のため、CAPの制限外で履修できます。文部科学省から特色ある大学教育として選定されたこともある取り組みですので、多くの学生にチャレンジしてほしいと思います。

研究室配属と4年次における学修

4年次での学修は、配属された研究室で卒業研究をおこなうことが基本になります。

研究室配属は、現在すべての学科で、3年次後学期までの間に仮配属としておこなわれています。配属方法も、定員制で成績順に決めるという単純な形ではなく、学生の希望にも配慮するようになってきました。それでも全員が第一希望の研究室に所属することは難しく、最後は成績（GPA）と授業などを通じた担当教

員との関係を考慮して決定されます。配属研究室は卒業後の進路にも関わってきますので、できれば早い時期から考えて対応しておきたいところです。

卒業研究は必修科目で、その単位を修得するには、配属研究室で求められる研究活動をおこなった上で、期限までに卒業論文を提出し、各学科でおこなわれる研究発表会で発表して、合格することが条件です。

卒業後の進路決定に向けて

企業就職を目指す学生には、3年次からキャリア必修科目を通じて準備を進め、4年次進級前の春休みから学内合同企業説明会や単独説明会を開催するなどして、就職活動を本格的に後押しします。この数年、企業内定者の半数程度が学内の企業説明会を利用して、その効果と有用性は絶大です。一方で最近は、インターンシップや電子ポートフォリオを活用した逆オファー型の採用など、あたらしい仕組みも増えてきています。特にインターンシップへの参加は、企業・業

界理解を深めるだけでなく、企業エントリーの条件となっている場合もあり、より重要度が増しています。これらの流れに乗り遅れないように、早めから進路への意識を高めておいてほしいと思います。

また、大学院進学や教員採用試験へのチャレンジなど、企業就職以外の進路を目指す場合には、遅くとも3年次前学期までに意思決定をしておくことが望まれます。

通常の教育課程以外の学び

・教職課程

教員免許状の取得を目指すための課程で、原則として1年次前学期に登録し、この課程のために設定された多くの科目を、各学年で通常の授業に加えて履修（CAP外）します。課程全体の運営は教職センターが担当していて、学科により異なりますが、中学技術、高校工業、中学・高校数学、高校情報の免許取得が可能です。毎年10名程度の免許取得者があり、近年は卒業時に正規教員として採用される学生も増えています。

・横断型先端分野学修プログラム

2年次から始める、ワンランク上の学修を目指す学生のためのプログラムです。これに参加することで、他学部・他学科専門科目のCAP外での履修や、コース担当教員の指導の下での研究活動ができます。現在、①ロボティクス②XRメディア③IoT④AIの4つのコースが活動していて、毎年多くの学生が参加し、学会で発表するなどの成果を上げています。

なお、参加には1年次の成績等に条件があります。



修学状況の目安：修得単位数を確認する

各学年・学期終了時点での修得単位数は、修学が順調であるかを判断する物差しになります。要注意といえる単位数の目安は、概ね表に示す通りです。3年次の終了時に100単位未満の場合は、卒業研究の履修が

できず、留年となります。また、卒業の要件単位数は124ですので、104単位ぎりぎりで4年次生になったとしても、就職活動をしながら授業を受け、必要な単位を修得しなければ、4年次末での卒業ができません。

学年・学期	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期
修得単位数	18	36	54	72	88	104

実際には、修得単位数以外に必修科目や科目区分ごとの単位修得状況や、授業の出席状況なども併せて考
える必要があります。これらを総合的に判断して心配な点が認められたときは、担当教員からまず学生本人に注意し、それでも改善が見られない場合には、保護者・保証人の皆様にもご連絡差し上げることになります。

このような連絡は、学年末の成績表送付あるいは例年9月に実施されるSIT修学懇談会のご案内の際

に、郵送でおこなうのが基本です。修学状況に対する所見をお送りいたしますので、届いた場合には、懇談会へのご出席あるいは電話でのお問い合わせをいただきたいと思います。

なお、次に示す通り、授業出欠と単位修得状況を随時Web上で確認できるシステムが、保護者の皆様にもご利用いただけます。必要に応じてご活用いただければ幸いです。

学生の出欠・単位修得状況のWeb確認

別途郵送されるユーザIDと仮パスワードを使って、本学ホームページ内の下記のサイトから利用マニュアルと成績・出欠確認システムにアクセスし、トップページ左側メニューの「成績」および「出欠管理」から、それぞれの状況をご確認いただくことができます。ご利用方法に関するお問い合わせは、メディア情報センターまでお願ひいたします。

<http://www.shonan-it.ac.jp/for-guardian/education/campussquare/>

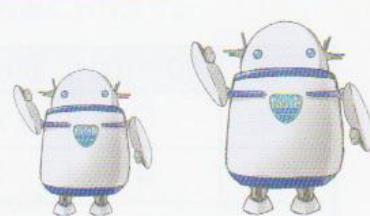


授業出欠状況を確認する際の注意事項

- 現在の学期に履修登録している授業科目ごとに、各回の実施日と出欠が表示されます。
- 回数欄が表示されない科目は、通常の時間割には載らない授業（集中開講など）です。
- 表示は、「○」が出席、「×」が欠席、「他」は遅刻、補習、公欠のいずれかを示します。
- 出欠データの登録は、授業終了後1週間以内におこなわれます。ただし、学期初めや教員の都合等の事情により、遅れことがあります。
- 記入された出欠は、補習実施等の理由により、後に修正されることがあります。

成績と修得単位数を確認する際の注意事項

- 成績の一覧表には、これまでに履修登録した科目がすべて表示されます。
- 画面に表示される総修得単位数は、卒業要件に含まれない教職科目の修得単位も含みますので、進級や卒業の要件単位数と直接対応しない場合があります。



基本的な事項と重要な用語

学期と授業期間

- 各学年、前学期と後学期の2学期制です。それを半期と呼びます。
- 各学期の授業期間は、月～金の各曜日が16週となるように設定されます。
- 授業回数確保のため、月～金の祝日に当該曜日の授業を実施することがあります。

授業時間割と授業形態

- 1日の時間割は、1～5時限（コマ）で各90分です。
- 講義・演習・実技の科目では、各週1回1コマの授業が基本となります。
- 実験・実習の科目では、多くが2コマ連続の授業となります。

科目の大区分

- 共通基盤科目：湘南工科大学での学びの基盤づくりをするための全学共通科目です。
- 社会人基礎科目：社会人基礎力を伸ばすことを目的とする全学共通科目です。
- 学科専門科目：学科ごとに専門的な知識や技能を身に付けるための科目です。
- 教職科目：教員免許状の取得を目指す学生のために、別枠で開講される科目です。

科目履修と単位修得

- 各学期に履修登録した科目の授業を受けて、評価に合格すると単位が修得できます。
- 週1回全16回の授業で、講義・演習科目は2単位、実験・実習・実技科目は1単位です。
- 科目ごとに指定された配当年次があり、それより下の学年での履修はできません。
- CAP：半期に履修登録できる授業数の上限で、20単位に設定されています。

科目の種類

- 必修科目：単位修得が卒業のための必須要件となる科目です。
- 選択科目：単位修得が卒業の可否に直接関係なく、自由に選んで履修できる科目です。
- 選択必修科目：指定の科目群から所定の数以上の単位修得を必要とする科目です。

卒業要件と成績

- 卒業要件：4年以上在籍（休学期間を除く）し、総修得単位数が124単位以上および、科目区分毎に定められた必修や選択必修の条件を満たすことが、卒業の要件になります。
- 成績：成績は100点満点で評価され、成績表には評語で示されます（下表参照）。
- GPA：履修した科目すべての成績を数値化（=GPA）し、各科目の単位数で重みづけした上で平均した尺度で、0～4の範囲で大きいほど成績優秀となります。

評価	90～100	80～89	70～79	60～69	0～59	不 受 験 等	出 席 不 足	そ の 他
評語	S	A	B	C	D	X	Y	Z
GP	4	3	2	1	0	0	0	0
単位	合格＝単位修得				不合格＝単位未修得			

保護者が知りたいトラブルの事例と対策

■ 一人暮らしに関わるトラブル

- ・不規則な生活などにより授業が欠席しがちになる
- ・授業、成績などに不安を感じ、引きこもってしまう
- ・近隣、住まいの問題（騒音・ゴミ・勧誘商法）

⇒保護者への定期的な連絡をルール化して、ご子女の様子に変化が無いか確認をしていただくことをお勧めしています。また、スマートフォンやコンピュータから毎日の授業出席状況が確認できますのでご利用ください。

- ・住まいに関するトラブルは、管理会社や大家さんとよく相談するのが肝心です。
- ・しつこい訪問販売は、強い気持ちではっきり断り、販促品なども受け取らない。

■ 物への依存に関わるトラブル

- ・アルコール、タバコ、危険ドラッグ
- ・ギャンブル
- ・インターネット、ゲーム コンテンツ依存（ゲーム中毒）、つながり依存（LINE・Twitter・Facebookなど）

⇒未成年の飲酒喫煙や規制薬物の所持・使用は法律違反ですので、発覚した際には退学を含む処分となります。本学は屋内外を含む大学敷地内「全面禁煙」を実施しています。

- ・ゲームやネット中毒に陥ってしまうのも、本人の意志の弱さが原因です。
- 大学での授業に出席するだけでなく、同好会や部活動などに参加し、仲間と共に楽しむことを勧めています。

一人で悩まないで！

保健室

— 保健室をのぞいてください —

この春大学一年生となった皆様、期待と喜びの中で新しい生活を始められる事と思います。大学の4年間は子供から大人への成長をしていく過渡期となります。自分を振り返ったり見つめたり、いろんな思いを巡らせます。

大学に保健室があるのをご存知だったでしょうか。「友達ができない」「大学へ行けない」「体調がすぐれない」「勉強や就職のことで不安」「友達や恋人の悩み」「家族の悩み」そんな時は誰かに相談してください。自分の気持ちを話すことが次の一步に繋がります。

保健室は学生の皆さんのが快適な生活を送れるようにいつでも気軽に利用することができます。

■ コミュニケーションに関わるトラブル

- ・SNSでの炎上に巻き込まれる
- ・カルトサークルでの活動で被害を受ける
- ・ブラックバイト（ブラック企業）から辞められない

⇒ソーシャルメディア上で何らかの被害者（加害者）となった場合、その拡散を止めるることは極めて困難であると自覚して下さい。多くの企業は採用に際して応募者のSNSを調べておらず、その結果内定を取り消す場合もあります。

ソーシャルメディア利用時の5つの注意事項

1. 必要以上の個人情報を公開しない
2. 不特定多数の読者を念頭に投稿する
3. パスワードなどセキュリティに対して気を配る
4. 就活先の人事担当者が見ている可能性を考える
5. 他人と自分を大事にする気持ちを持つ

■ ハラスメントに関わるトラブル

- ・ストーカー（セクシャルハラスメント、デートDV）
- ・アカデミックハラスメント（パワーハラスメント）
- ・アルコールハラスメント

⇒自分が良かれと思っておこなったことでも、相手が不愉快・不快と感じればそれはハラスメントにあたるかもしれません。

また被害者とならないために気をつけることは、

1. 嫌だと思う相手、行為にははっきり「NO」と言う。
2. 一人で悩まず信頼できる人や相談員などに相談する。
3. 被害状況、受けた行為の記録（日時・場所）を取っておく。



予約制《学生相談室・健康相談室》

※要予約…予約の際は保健室まで（秘密は厳守します）

《学生相談室》◎臨床心理士がカウンセリング（予約制）に応じています。（月・水）
場所：学生相談室（大学体育館1階）佐々木記念体育会館正面入口を入り、すぐ右奥にあります。

《医師による健康相談室》◎学校医との相談ができます。

来校日：第3火曜日 14:30～15:30

場所：保健室（4号館1階）

《SIT ガクラボ》予約不要

開室日：月曜日および水曜日

10:40～17:40 場所：4号館（4124教室）

様々な学生支援を担当する事務部門

大学事務組織の各課・センターが扱っている、修学および大学生活に関する各種支援内容についてまとめました。すべての学生に関係するものから特別なニーズに対応するためのものまでありますが、必要に応じて積極的に活用していただきたいと思います。不明な点は遠慮なく各担当部署にお問い合わせください。

事務課

- ・学費の納入に関する処理
- ・CC懇談会、SIT修学懇談会の実施運営
- ・学内施設・設備の管理運営

学生課

- ・各種奨学金や学費延納等に関する対応
- ・通学中の事故や授業中のケガに対する保険対応
- ・自転車通学、バイク通学の許可証発行と講習
- ・外国人留学生の在留確認と留学ビザの手続き
- ・自治会、部活動等、学生主体の各種活動の支援
- ・アルバイトやアパートの紹介
- ・修学上や学生生活の問題に関する相談受付と支援

教務課

- ・授業履修、出欠、成績等に関すること
- ・資格取得講座や海外語学研修の実施運営
- ・休学・退学や住所などの変更手続き

就職課

- ・就職活動全般に対する情報提供と支援

メディア情報センター

- ・大学Gmail、CampusSquare、Moodleなどの管理運営
- ・Office365等のアカデミックライセンス提供
- ・学内共同利用PC室の管理運営
- ・図書館利用および情報検索・収集に対するサービス

各部署の連絡先

※受付時間 平日 8:30～18:00 土曜日 8:30～12:30

事務課 電話：0466-30-0271
FAX：0466-35-2055
E-mail：syomuka@center.shonan-it.ac.jp

教務課 電話：0466-30-0274
FAX：0466-35-2055
E-mail：kyoumu@center.shonan-it.ac.jp

学生課 電話：0466-30-0278
FAX：0466-34-7495
E-mail：gakusei@center.shonan-it.ac.jp

就職課 電話：0466-30-0276
FAX：0466-35-0559
E-mail：syusyoku@center.shonan-it.ac.jp

メディア情報センター 電話：0466-30-0284
E-mail：mediaict@center.shonan-it.ac.jp

附属図書館 電話：0466-30-0280
FAX：0466-34-4373
E-mail：library@center.shonan-it.ac.jp

後援会事務局

火曜日・金曜日 午前9時～午後4時30分
TEL・FAX：0466-34-8710
PC E-mail：koenkai@center.shonan-it.ac.jp

